



平成18年11月22日

各 位

電子材料ガスの出荷価格改定について

この度、大陽日酸株式会社（社長：松枝 寛祐）では、半導体、液晶の製造プロセスに使用する「電子材料ガス（特殊材料ガス）」の一部の出荷価格を下記の通り改定することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象製品：モノシラン（ SiH_4 ）、ジクロロシラン（ SiH_2Cl_2 ）、アルシン（ AsH_3 ）
ホスフィン（ PH_3 ）、ジボラン（ B_2H_6 ）
2. 改訂時期：平成18年12月出荷分より
3. 改訂幅：①モノシラン、ジクロロシラン ⇒ 出荷価格の20%引上げ
②アルシン、ホスフィン、ジボラン ⇒ 出荷価格の10%引上げ

4. 改訂理由：

当社は、半導体・液晶の製造プロセスに使用する「電子材料ガス（特殊材料ガス）」と呼ばれる様々な材料ガスを製造・販売しております。

その内、モノシラン、ジクロロシランは成膜用として、アルシン、ホスフィン、ジボランはドーピング用や化合物半導体製造用として使われています。これらの原料となる各種の化学品については、一部は国内・海外の当社関係会社にて製造し、一部は化学メーカーから調達し、精製したのちに、単体の高純度品として、もしくは窒素・アルゴン・ヘリウム・水素等のベースガスと混合させた状態で充填・出荷しております。

このところ、半導体・液晶産業が好調に推移し、「電子材料ガス（特殊材料ガス）」の需要は世界規模で急拡大しており、今後は更に太陽電池の製造プロセス向けの需要増加が見込まれています。

一方、原料供給元である化学メーカー各社においては、長年にわたる需要家からの価格圧縮の動きに加え、石油製品や金属珪素等の原料高騰の煽りを受け、現在の事業環境下では生産設備の増強や更新の余力はなく、需要増に対応するためには製品価格引上げを以って臨むしかないとの判断から、相次いで出荷価格の改定を決定しています。

